

- 1 個人の主体的な選択を尊重し、「**マスク着用は個人の判断**」を基本とする
⇒ 以下の点に留意する
 - ・ 本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断を尊重する
 - ・ 子どものすこやかな発育・発達の妨げにならないよう配慮する
 - ・ 感染が大きく拡大している場合は、一時的に場面に応じた適切なマスク着用を広く呼びかける(この場合も、子どものマスク着用については、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意する)
- 2 政府が示す**感染防止対策としてマスク(不織布マスク推奨)の着用が効果的な場面にも留意**する
- 3 マスク着用が個人の判断に委ねられるようになった後も、換気の励行、ゼロ密(密閉、密集、密接の全てを避ける)、こまめな手洗い、消毒などの**基本的な感染防止対策を引き続き徹底**する

【政府が示すマスク着用が効果的な場面】

- ✓ 高齢者等の重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、**以下の場面では、マスクの着用を推奨**
 - ・ 医療機関への受診時 ・ 医療機関や高齢者施設等への訪問時
 - ・ 通勤ラッシュ時などの混雑した電車やバスへの乗車時(当面の取扱い)
 - ※ 概ね全員の着席が可能であるもの(新幹線、高速バス、貸し切りバス等)を除く
- ✓ 感染の流行期に**重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時**は、感染から身を守るための対策としてマスク着用が効果的